

## 事業概要

## マンパワー事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事業名	セーフティネット認定	事業類型	指導・規制・許認可
担当部課	産業振興部 産業振興推進課		
基本計画	編 5 章 1 施策番号 37 企業支援	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	— —
根拠法令等	中小企業信用保険法		
事業目的 (最終的に目指す状態)	取引先等の再生手続等の申請や事業活動の制限、災害、取引金融機関の破綻等により経営の安定に支障を生じている中小企業者に対し、セーフティネット保証のための認定を行う。 ※セーフティネット保証（経営安定関連保証）は、景気の低迷などにより経営の安定に支障を来している中小企業者を支援するための保証制度		

## 事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
0.10人	2.00人	0.10人	△ 1.90人

## 指標

	指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
①	活動指標	審査件数	件	201	4,958	357	△ 4,601	コロナ禍による需要が落ち着いたことによる。
②	成果指標	認定件数	件	201	4,958	357	△ 4,601	同上
③								
④								

## 事業実績

3年度目標	・中小企業者と十分なヒアリングの実施 ・適切な審査と迅速な認定書の発行	2年度末時点の課題	特になし
目標に対する事業実績	・セーフティネット保証の認定書（4号-180件、5号-70件）を3日以内に発行 ・危機関連保証の認定書（107件）を3日以内に発行	課題への対応	特になし  解決
3年度評価	達成	次年度（5年度）以降の展開	現状維持

## 今後の取組

4年度目標	・中小企業者と十分なヒアリングの実施 ・適切な審査と迅速な認定書の発行	3年度末時点の課題	特になし
4年度の取組	・業種条件、売上減少条件等の適合確認の徹底 ・迅速な事務処理の徹底	5年度の計画	・中小企業者と十分なヒアリングの実施 ・適切な審査と迅速な認定書の発行

## 事業概要

## マンパワー事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事業名	買物困難者対策	事業類型	補助・負担・支援
担当部課	産業振興部 産業振興推進課		
基本計画	編 5 章 3 施策番号 41	にぎわいにつながる産業の振興	まち・ひと・しごと創生総合戦略 — —
根拠法令等	—		
事業目的 (最終的に目指す状態)	市内の買い物困難者に対する買い物支援を行う民間事業者の調整		

## 事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
0.20人	0.05人	0.05人	0.00人

## 指標

	指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	活動指標 民間事業者との調整	回	2	2	2	0	—
②							
③							
④							

## 事業実績

3年度目標	住民・事業者とも持続可能な事業実施の調整	2年度末時点の課題	住民からの希望はあるが、利用人数が少ない地点がある。
目標に対する事業実績	利用者の利便向上のため、移動販売場所の変更や時間を調整。	課題への対応	利用が少ない販売場所について、利用者・事業者ともに継続していけるよう調整した。
			解決
3年度評価	達成	次年度（5年度）以降の展開	現状維持

## 今後の取組

4年度目標	住民・事業者とも持続可能な事業実施の調整	3年度末時点の課題	特定商業施設の新築等の把握
4年度の取組	住民・事業者とも持続可能な事業実施の調整	5年度の計画	住民・事業者とも持続可能な事業実施の調整

## 事業概要

## マンパワー事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事業名	大規模小売店舗立地等生活環境保全				事業類型	指導・規制・許認可				
担当部課	産業振興部 産業振興推進課									
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-
根拠法令等	大規模小売店舗立地法、特定商業施設の出店に伴う生活環境保全に関する要綱									
事業目的 (最終的に目指す状態)	大規模小売店舗等の設置者が配慮すべき事項として大規模小売店舗等の立地に伴う交通渋滞、騒音、廃棄物等に関する事項を定め、大型店（基準面積1,000㎡超）又は特定商業施設（基準面積500㎡以上1,000㎡以下）と地域社会との融合を図る。【大型店：大規模小売店舗立地法、特定商業施設：特定商業施設の出店に伴う生活環境保全に関する要綱】									

## 事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
0.12人	0.12人	0.12人	0.00人

## 指標

		指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	活動 指標	大型小売店舗立 地協議会開催数	回	2	4	3	△1	実績による
②								
③								
④								

## 事業実績

3年度目標	大規模小売店舗及び特定商業施設の立地に係る周辺地域の生活環境の保持	2年度末時点の課題	特定商業施設尾新築等の把握
目標に対する 事業実績	3年度は2店舗の出店計画と1店舗の変更計画があり、大規模小売店舗立地協議会を书面開催した。そこで議論された内容について、東京都を通し事業者へ伝えたことにより、周辺地域の生活環境の保持につながった。	課題への対応	2店舗の出店計画と1店舗の変更計画に対応した。
3年度評価	達成	次年度（5年度）以降の展開	解決 現状維持

## 今後の取組

4年度 目標	大規模小売店舗及び特定商業施設の立地に係る周辺地域の生活環境の保持	3年度末 時点の課題	特定商業施設の新築等の把握
4年度の 取組	大規模小売店舗及び特定商業施設の立地に係る周辺地域の生活環境の保持のための調整	5年度の 計画	大規模小売店舗及び特定商業施設の立地に係る周辺地域の生活環境の保持のための調整

## 事業概要

## マンパワー事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事業名	中小企業等経営強化法への対応	事業類型	補助・負担・支援
担当部課	産業振興部 産業振興推進課		
基本計画	編 5 章 1 施策番号 36 産業振興の体制強化	まち・ひと・しごと創生総合戦略	— —
根拠法令等	生産性向上特別措置法		
事業目的 (最終的に目指す状態)	中小企業の先端設備等の導入を促すことで、設備投資が活発な自治体として、経済発展を促進させる。		

## 事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
0.35人	0.20人	0.20人	0.00人

## 指標

		指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	成果指標	申請件数	件	56	26	32	6	コロナ禍からの回復過程における、事業者の設備投資の増価による。
②								
③								
④								

## 事業実績

3年度目標	時限立法である現制度の恒久化に向けた新たな制度構築を行う。 新制度構築後、安定的に制度運用していく。	2年度末時点の課題	安定した認定事務運営を実施するため、関東経済産業局とも連携し、事務員の事業理解を進める。
目標に対する事業実績	本事業の根拠法が、生産性向上特別法から中小企業等経営強化法に変更されたことによる制度整備を行い、申請事業者に支障ないよう引き続き先端設備の認定事務を運用した。 先端設備導入認定件数32件	課題への対応	新法への対応を図り、的確な制度運用に努めた。  解決
3年度評価	達成	次年度（5年度）以降の展開	縮小

## 今後の取組

4年度目標	先端設備導入計画の認定について滞りなく事務を執り行う。	3年度末時点の課題	中小企業等経営強化法による固定資産税の特例措置は令和5年3月までとされているが、国の動向次第で延長される可能性もあるため、状況を注視する必要がある。
4年度の取組	・先端設備導入計画の認定事務処理 ・（国の制度延長がある場合）制度の修正・継続事務処理	5年度の計画	先端設備導入計画の認定事務を引き続き行う。 国の制度延長がある場合は、それに応じた対応を図る。

## 事業概要

## マンパワー事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事業名	フィルムコミッション事業	事業類型	普及啓発・情報提供・相談
担当部課	産業振興部 観光課		
基本計画	編 5 章 3 施策番号 41 にぎわいにつながる産業の振興	まち・ひと・しごと創生総合戦略	— —
根拠法令等	—		
事業目的 (最終的に目指す状態)	国内外の映画・テレビドラマなどで使用する自然の景色や街頭などの撮影を誘致し、観光産業振興及び付帯する産業の振興を図ることを目的とする。		

## 事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
0.32人	0.13人	0.51人	0.38人

## 指標

	指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	活動指標 問合せ件数	件	468	193	376	183	実績による
②	成果指標 撮影件数	件	28	21	21	0	—
③							
④							

## 事業実績

3年度目標	魅力発信につながる効率的な撮影支援	2年度末時点の課題	撮影に伴う関係所管等との調整
目標に対する事業実績	映画・ドラマなど、本市の魅力発信に繋がるフィルムコミッションの支援を行った。 問合せ件数 376件 撮影件数 21件	課題への対応	市道や公園での撮影にあたり、各所管との調整を密に行い安全安心な撮影支援を行った。  一部解決
3年度評価	達成	次年度（5年度）以降の展開	現状維持

## 今後の取組

4年度目標	魅力発信につながる効率的な撮影支援	3年度末時点の課題	フィルムコミッション事業の趣旨を各所管に共有し、よりスムーズな調整を行えるよう、充実した撮影協力体制を整える。
4年度の取組	映画をはじめドラマ撮影の支援を実施し、魅力発信に努める。 各所管と撮影支援について調整を図る。	5年度の計画	映画をはじめドラマ撮影の支援を実施し、魅力発信に努める。

## 事業概要

## マンパワー事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事業名	高尾山応援基金	事業類型	普及啓発・情報提供・相談
担当部課	産業振興部 観光課		
基本計画	編 5 章 3 施策番号 42 地域資源を活用する産業の振興	まち・ひと・しごと創生総合戦略	— —
根拠法令等	高尾山応援基金設置要綱、高尾山応援基金運営協議会設置要綱		
事業目的 (最終的に目指す状態)	観光地としての高尾山の魅力を未来へ継承するために、環境保全や良好な景観形成の向上、歴史文化等を推進する。		

## 事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
0.30人	0.30人	0.02人	△ 0.28人

## 指標

	指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	活動指標 募金額	円	1,012,907	48,892	63,925	15,033	実績による
②							
③							
④							

## 事業実績

3年度目標	基金のPR・募金活動を継続して行っていくとともに、協議会において基金を利用した事業の展開について協議を行う。	2年度末時点の課題	高尾山の魅力を次世代に継承するという目的を実現するために、どのような事業を実施していくかを運営協議会の中で固め、事業化していく必要がある。
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>高尾山応援基金運営協議会 3回</li> <li>募金箱の設置</li> <li>ごみ持ち帰り運動を促進するためのごみ袋の配布</li> </ul>	課題への対応	<p>基金のPRを継続して行ったことで、着実に基金の目的等が認知され、募金額の増加につながった。</p> <p>事業の展開については協議会で議論し、団体への活動支援や課題可決事業としてごみ袋の配布を推進した。</p> <p>一部解決</p>
3年度評価	達成	次年度（5年度）以降の展開	現状維持

## 今後の取組

4年度目標	当面コロナ禍が続くと思われるが、基金のPR・募金活動を感染状況に併せ行っていくとともに、協議会において基金を利用した事業の展開についても協議を行う。	3年度末時点の課題	コロナ禍により、募金活動などが出来ないが、高尾山の魅力を次世代に継承するという目的を実現するために、どのような事業を実施していくかを運営協議会の中で固め、事業化していく必要がある。
4年度の取組	高尾山応援基金運営協議会 3回 募金箱の設置 基金のPR・募金活動	5年度の計画	基金のPR・募金活動を継続して行っていくとともに、協議会で協議された基金を利用した事業を実施する。

## 事業概要

## マンパワー事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事業名	八王子夢街道駅伝競走大会				事業類型	イベント				
担当部課	産業振興部 観光課									
基本計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興	まち・ひと・しごと創生総合戦略	-	-
根拠法令等	-									
事業目的 (最終的に目指す状態)	八王子市におけるスポーツ振興及び普及を図り、市民及び参加者の健康の維持推進に寄与することや、合わせて市内外に対し本市の魅力を発信し、集客することで、中心市街地や沿道地域の活性化を目指す。									

## 事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
0.38人	0.08人	0.04人	△ 0.04人

## 指標

	指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	活動指標 参加者数	チーム	506	0	0	0	
②							
③							
④							

## 事業実績

3年度目標	会場での開閉会式の遅滞ない進行及び、沿道地域でのイベントを継続する。	2年度末時点の課題	コロナ禍での安全安心な大会運営が課題である。
目標に対する事業実績	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、安全安心な大会運営が担保できないため中止。	課題への対応	課題の担保が不可能のため中止となったが、開催に向け検討を重ねた。  一部解決
3年度評価	やや不十分	次年度（5年度）以降の展開	現状維持

## 今後の取組

4年度目標	安全安心な大会運営を担保した式典やイベントを実施し、来訪者に対する新たなおもてなしを実施する。	3年度末時点の課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止に基づく式典やイベント実施について関係者との協議が課題。
4年度の取組	例年のスケジュールにとらわれず関係団体と調整し、安心安全な式典やイベントを実施する。	5年度の計画	安全安心な大会運営を担保した式典やイベントを実施し、来訪者に対する新たなおもてなしを実施する。

## 事業概要

## マンパワー事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事業名	生産緑地の管理	事業類型	その他
担当部課	産業振興部 農林課		
基本計画	編 5 章 3 施策番号 42 地域資源を活用する産業の振興	まち・ひと・しごと創生総合戦略	— —
根拠法令等	生産緑地法		
事業目的 (最終的に目指す状態)	生産緑地法に基づき、生産緑地の買取申出、一時使用、公共設置に係る事務を行う。		

## 事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
0.28人	0.25人	0.50人	0.25人

## 指標

		指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	活動指標	買取申出相談件数	件	27	10	17	7	実績による
②	活動指標	一時使用相談件数	件	0	2	3	1	実績による
③	活動指標	公共設置相談件数	件	6	9	6	△3	実績による
④	成果指標	事務処理件数	件	33	21	26	5	実績による

## 事業実績

3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係法令に基づき適切に処理を行う。</li> <li>生産緑地内に施設の設置許可についての体制を整える。</li> </ul>	2年度末時点の課題	令和4年度に市内の生産緑地の多くが、指定告示から30年を迎えるにあたり、各種手続きの相談・申請件数が増加することが見込まれる。
目標に対する事業実績	八王子市で初めて生産緑地での施設の設置許可について関係所管と調整し、体制を整えた結果、許可することができた。	課題への対応	担当内で生産緑地指定告示30年を迎えた生産緑地の手続きについて状況を共有した。  一部解決
3年度評価	達成	次年度（5年度）以降の展開	現状維持

## 今後の取組

4年度目標	生産緑地指定30年を迎える生産緑地の買取り申出の受付方法及び処理方法の決定。	3年度末時点の課題	令和4年度に市内の生産緑地の多くが、指定告示から30年を迎えるにあたり、各種手続き方法の確立。
4年度の取組	令和4年11月2日に生産緑地指定30年を迎えるため、買取り申出に係る手続きについて適切かつ迅速に処理できるよう関係所管と連携し、決定する。	5年度の計画	関係法令に基づき適切に処理を行う。



## 事業概要

## マンパワー事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事業名	八王子市農地バンク制度				事業類型	その他				
担当部課	産業振興部 農林課									
基本計画	編	5	章	3	施策番号	42	地域資源を活用する産業の振興	まち・ひと・しごと創生総合戦略	②	—
根拠法令等	八王子市農地バンク制度実施要綱									
事業目的 (最終的に目指す状態)	市内の市街化調整区域内にある貸付けを希望する遊休農地などの情報を集約するとともに、借り手として登録した方に情報を提供し、農地の貸借を促進する。									

## 事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
0.31人	0.31人	0.39人	0.08人

## 指標

		指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	活動指標	農地登録状況	m <sup>2</sup>	1,076	2,249	4,506	2,257	農地バンク制度のチラシ配布など制度が普及したため。
②	成果指標	農地バンク制度によるマッチングした面積	m <sup>2</sup>	1,076	3,767	2,628	△ 1,139	実績による
③	成果指標	農地バンク制度によるマッチングした農地	筆	1	7	3	△ 4	実績による
④	成果指標	農地バンク制度によるマッチングした件数	件	1	3	3	0	優良な農地登録を推進したため。

## 事業実績

3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優良な農地の農地バンク制度への登録を増やす。</li> <li>・市内農業者及び新規就農者の農地バンク制度の利用を促進し、遊休農地を解消する。</li> </ul>	2年度末時点の課題	市外に居住する者から借受希望があり、農地バンクで農地の貸借が成立しても、市内に居住していないので速やかに農業経営できない。
目標に対する事業実績	農地バンク実施要綱を改正し、市内農業者及び新規就農者の制度利用におけるマッチング順位を優先し、遊休農地解消に向けた取組を推進した。	課題への対応	農地バンク実施要綱を見直し、市内農業者及び新規就農者が制度の利用を促進する。
3年度評価	達成	次年度（5年度）以降の展開	現状維持
		解決	

## 今後の取組

4年度目標	優良な農地の農地バンク制度への登録を増やす。	3年度末時点の課題	農地バンク制度を認識・理解していない農業者及び農地所有者が存在する。
4年度の取組	人・農地プランのアンケートで「農地を貸したい」等と回答があった農地所有者に農地バンク制度を周知し、登録農地増加を目指す。	5年度の計画	優良な農地の農地バンク制度への登録を増やし、農地の貸借を促進する。